景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

1a-1. 基本的配慮事項

（景観計画p.21、景観ガイドライン中高層建築物等編p.8参照）

当該行為における景観形成の考え方	
（記載欄）	
基本的配慮事項	**配慮事項に関する措置状況の説明**
（１）まちの特性を捉え、充分配慮する ・地域の景観形成の目標､方針を踏まえる ・敷地周辺の地域の特性を考慮する ・敷地周辺の地域との調和を図る	（記載欄）
（２）建築物と付属物をトータルにとらえる ・建築物と付属物を一体的に捉え、目障りにならないよう工夫する	（記載欄）
（３）まちの個性や魅力を育てる ・地域の個性や魅力を育てる工夫をする	（記載欄）
（４）まちに開かれた施設とする ・地域に開かれた空間を確保する	（記載欄）
（５）地域の自然環境の保全、育成に貢献する ・地域の自然環境を保全、育成する	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

1a-2. まちの特性から見た配慮事項

（景観ガイドライン中高層建築物等編:p.30参照）

（1）配置

	基 準	措置状況の説明
景観形成基準	壁面の位置の連続性や軒高など、周辺の街並みに配慮した配置とする。	(記載欄)
	敷地内や周辺に歴史的な資源や残すべき自然などがある場合には、これらを生かした配置とする。	(記載欄)
	背後の住宅地との間にゆとりの空間を設ける。	(記載欄)

（2）高さ・規模

	基 準	措置状況の説明
景観形成基準	高さは、周辺建築物群のスカイラインとの調和を図り、著しく突出した高さの建築物は避ける。	(記載欄)
	周辺からの見え方に配慮し、周辺の景観との一体性や調和を図る。	(記載欄)

（3）形態・意匠・色彩

	基 準	措置状況の説明
景観形成基準	色調を落ち着いたものとし、隣合う開発地や近隣の建物のデザインや色調を調和させる。	(記載欄)
	外壁は、長大な壁面を避け、圧迫感の軽減を図る。	(記載欄)
	色彩は、景観計画p.91の色彩基準に適合するとともに、周辺景観と調和を図る。	(記載欄)
	屋根・屋上に設備がある場合は、建築物と一体的に計画するなど周囲からの見え方に配慮する。	(記載欄)

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

景観形成基準	広告物は集約化し効果的なものとする。また、落ち着いた色調とし、周辺との調和を図る。		（記載欄）
	建築物に付帯する構造物や設備等は、建築物本体と調和を図る。		（記載欄）
地域デザイン指針	**指 針**	**チェック欄**	**「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入**
	街並みを整えるため、隣接する建物と壁面位置、高さ、色彩等、デザインの一部を揃える。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	幹線道路からの見え方に配慮し、外廊下や壁面等が単調とならないよう努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	低層部に窓を多くとり、賑わいの向上とともに屋内を開放的に見せる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	幹線道路に面する地盤面からの高さ１２ｍを超える部分は、壁面後退や色彩を上空となじませるなど、開放感の創出に努める	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（４）公開空地・外構・緑化等

	基 準	**措置状況の説明**
景観形成基準	壁面を後退し、オープンスペースを確保し、隣接するオープンスペースと連続性をもたせる。	（記載欄）
	敷地内はできる限り緑化を図り、周辺と連続させる。また、屋上や壁面の緑化を積極的に検討する。	（記載欄）
	緑化に当たっては、周辺の景観と調和を図るとともに、植物の良好な生育が可能となるよう、植栽方法を工夫する。	（記載欄）
	道路側に植樹して街路樹と一体となった緑化とする。	（記載欄）
	夜間の景観を落ち着きあるものとし、過度な照明を使用しない。	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

景観形成基準	外構計画は、敷地内のデザインのみを捉えるのではなく、隣接する敷地や道路など、周辺の街並みと調和を図った色調や素材とする。	（記載欄）

（５）敷地境界部のデザイン

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
地域デザイン指針	接道部分に公開空地を確保し、ゆとりのある歩行空間の形成に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（６）上記以外で特に景観に配慮した事項

（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

1a-3. 景観要素別デザイン指針

（景観ガイドライン中高層建築物等編:p.39参照）

（1） 配置

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	公共空間に面する敷地境界からゆとりをもたせる	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	歴史的景観や自然景観等、地域の良好な景観を遮らない位置に配置する	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	風の通り道やビル風、地下水の流れ、周辺への日照、生物の生息空間等、地域の自然環境を保全・育成する	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	住宅系の建物が工場や商業施設等と隣接する場合は、騒音や臭気、煙、光害等の発生源を住宅から離し、良好な住環境の確保に努める	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	角地や交差点等では、見通しや憩いの空間確保に努める	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	隣接する建物と壁面を揃える等、街並みとの調和に努める	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	敷地内の既存樹木や、地形の保全に努める	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（2）高さ

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	周辺の樹木や自然環境の保全に配慮した高さとする	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	「関東の富士見百景」に選定されている浅間山から富士山への眺望を遮らない高さとし、シミュレーションの実施等、早い段階から見え方を検討する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	地域の優れた眺望に配慮し、公共空間からの眺望を保全する高さとする	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

要素デザイン指針	歴史的建造物の周辺では、高さを抑える	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	高さを抑えたり、変化をつけることで周辺に与える圧迫感や威圧感の軽減に努める	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	公共空間など、多くの人が利用する場所からの見え方に配慮するとともに、隣接建物と高さ、軒高、又は階高等を揃え、秩序ある街並みの形成に努める	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（３）形態・意匠・素材等

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	外壁は単調な壁面とせず、周辺の建物や自然となじむようなデザインとする	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	高層部と中層部は遠方から見た街並みの調和に配慮し、上層部や屋根のデザインを上空になじませる	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	建物の正面だけでなく、側面や背面の意匠についても周辺の景観と調和したものとする	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	角地や交差点の建物は、複数の方向からの見え方に配慮し、まちの特性との調和及び街並みの形成に配慮したデザインする	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	歴史的建造物と調和する落ち着いたデザインを基本とする	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	風の通り道やビル風、地下水の流れ、周辺への日照等、地域の自然環境を保全する	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	素材の劣化や、汚れが目立たないよう工夫するとともに、時間の経過により風格が生まれるものを使用する	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	６階又は高さ２０ｍ以上の建物で、建物の長さが高さの１．５倍を超える場合は、建物の分節、分棟化や雁行させる等、圧迫感や威圧感のある壁面とならないよう努める	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	エントランス（玄関）は、わかりやすく、デザイン上のポイントとなるよう工夫する	□ はい □ いいえ	（記載欄）

	低層部は、外壁に石材等自然素材の使用や、窓を多くとるなど、街並みの質を高める工夫をする	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（４）建物に付属する施設

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	バルコニーに設置する物干しやエアコン室外機などの設備類は外部から見え難くする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	バルコニー等の手摺は、柵状等の開放性のあるものやガラス等の透過性の高いものは避け、インナーバルコニー等、柱面から突出させない形態とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	日除け、テント等は周辺の街並みに配慮した大きさ及び色彩とし、色褪せや汚れた状態で放置しないよう維持管理を行う。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	モニュメント、装飾等を設置する場合は落ち着いた街並みと調和する質の高いデザインとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	衛星放送用アンテナ等の協同化に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	屋外階段や配管設備類、塔屋、屋上設備類（ソーラーパネル及び付属設備を含む）などの工作物は、建物本体と一体化したデザインとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	景観上好ましくない工作物等は、ルーバーや植栽などで修景するほか、良好な街並みとなるよう工夫する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（５）照明（建物及び外構の照明）

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	光色は、周辺の夜間景観との調和に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	点滅する照明は、原則として使用しない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	建物に用いる照明は、屋外広告物と合わせて各立面の1/3以下とし、原色等をアクセントとして使用する場合は各立面の1/20以下とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

要素デザイン指針	壁面の間接照明やフットライト、低めの庭園灯等により、落ち着きのある夜間照明の演出に努めるとともに、防犯に配慮した明るさを確保する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	周辺の住宅地への光もれに配慮し、農地等の植物や生物への影響の軽減に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	外廊下は、暖かみのある雰囲気となるよう光色や演出等を工夫する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（６）敷地境界部のデザイン

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	原則として高さを抑えた目立たない生垣や透過性のあるフェンスとし、開放的な街並みの形成に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	素材やデザインに変化をつけ単調とならないよう工夫する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	垣・柵等を設ける場合は敷地境界から後退させ、前面に植栽する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	植栽や建物配置により、周辺の緑や空地の連続性を高める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	接道部分に公開空地を確保し、ゆとりのある歩行空間の形成に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	交差点などの角地や横断歩道に隣接する境界部では、アイストップとなるシンボルツリーや、歩行者が滞留できる広場を確保するよう努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	連続する敷地や歩道との不調和・段差が生じない舗装とし、デザインやパターン、素材を合わせるなど一体感を高めるよう工夫する。	□ はい □ いいえ	記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

（７）敷地内の空地・広場

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	歩道状空地は空間およびデザインを周辺と連続させる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	歩行者の動線や利用を考えた空地、広場の配置及び形態とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	バス停の周辺では、利用者が休めるゆとりの空間を確保する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	公園や広場の整備内容については、地域の人々の意見を取り入れる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	敷地内の舗装は、透水性のあるものとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	まちの特性に応じた照明やストリートファニチャーを配置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	既存樹林や用水路などの地域の資源を広場整備に取り入れ、保全に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	積極的に緑化し、潤いや彩りのある景観形成に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	地域に開かれた利用しやすいものとするとともに、利用者が休める空間づくりに努める。	□ はい □ いいえ	記載欄）

（８）屋外施設等

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	ごみ置き場等は、目立たない位置に配置、あるいは植栽等により修景する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	自動販売機、屋外設備等は、目立たないよう建築物本体に組み込む又はルーバー、植栽による修景を行い周辺と調和した色彩の使用に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

要素デザイン指針	ゲート、サイン、モニュメント等のデザインは、街並みの質を高めるものとなるよう努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	敷地内や隣接する玉石垣、用水路、ほこら、屋敷林等の保全や活用に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（９）駐車場・駐輪場

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	地下式や建物内に組み込むよう努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	設置場所、出入口、誘導サインは、街並みの連続性に配慮した位置及び規模とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	原則として地上１階（層）までとする。やむを得ない場合は、周囲に植栽やルーバーを配置する等、表通りから見て自動車、自転車が目立たないよう修景する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	独立した機械式や自走式の立体駐車場は、無表情な大規模の壁面とせず、敷地内や周辺の建物と調和のとれた色彩、デザインとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	車道や駐車スペース周辺も樹種に配慮し、中高木を配置する林間駐車場とする等、環境の保全・育成に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	舗装面は、緑化ブロック等を使用し、舗装面が目立たないよう工夫する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

1b-1. 基本的配慮事項

（景観計画p.21、景観ガイドライン住宅地開発編p.8参照）

当該行為における景観形成の考え方	
（記載欄）	
基本的配慮事項	**配慮事項に関する措置状況の説明**
（１）より良い街並みづくりの工夫をする ・道路や公園・広場等の空間づくりを工夫する ・住宅地の魅力を高める工夫をする	（記載欄）
（２）周辺の街並みの特性を捉え、調和に努める ・周辺の住宅地の街並みとの調和に配慮する	（記載欄）
（３）まちの個性や魅力を育てる ・地域の個性や魅力を育てる工夫をする	（記載欄）
（４）日々の暮らしの中で景観形成の工夫をする ・住宅の建て方や緑の維持管理等、街並みの調和を保つ景観協定等のルールを定める ・住宅地の魅力を向上させる工夫をする	（記載欄）
（５）地域の自然環境の保全、育成に貢献する ・生物多様性や地形を含め地域の自然環境を保全、育成する	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

1b-2. まちの特性から見た配慮事項

（景観ガイドライン住宅地開発編:p.23参照）

（1）土地利用

	基 準	措置状況の説明
景観形成基準	区画は、オープンスペースや緑地が連続的なものとなるようにする。	（記載欄）
	ゆとりある区画を確保し、歴史的な景観資源や残すべき景観資源がある場合は、これらを生かした区画とする。	（記載欄）

（2）宅地（敷地）、造成等

	基 準		措置状況の説明
景観形成基準	地形の大幅な改変を避け、長大な擁壁や法面等が出現しないようにする。		（記載欄）
地域デザイン指針	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
	敷地規模を保全し、隣同士で連続した駐車スペースや、周辺の住民も利用できるオープンスペースの確保に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（3）緑化

	基 準	措置状況の説明
景観形成基準	事業地内はできる限り緑化を図り、周辺景観と調和した潤いのある空間を創出する。	（記載欄）
	緑化に当たっては、周辺と調和した樹種を選定する。	（記載欄）

（4）建物の配置

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
地域デザイン指針	道路及び隣接する建物との間にゆとりの空間を設ける。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

（５）形態

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
地域デザイン指針	近隣の建物と壁面位置、高さ、色彩、屋根の形状及び道路側のデザイン等を調和させる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	幹線道路側をきめ細かくデザインし、単調な壁面とならないよう努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（６）外構（門・塀等）

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
地域デザイン指針	生垣や高さを抑え植栽と組合せたフェンス、景観に配慮した塀等、快適な歩行空間と潤いのある街並みづくりを行う。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	敷地の幹線道路側を積極的に緑化する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（７）照明・街灯

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
地域デザイン指針	にぎわいを演出する夜間照明を行う。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（８）上記以外で特に景観に配慮した事項

（記載欄）

1b-3. 景観要素別デザイン指針

（景観ガイドライン住宅地開発編:p.29参照）

（1） 開発区域全体

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	道路や公園等の配置は、居住者だけでなく周辺の住民の利用等も考えた動線とし、周辺市街地とのネットワークや連続性を確保する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	敷地内の空地や、コモンスペースなどを連続させる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	盛土や切土を減らし、敷地形状を生かす。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	概存の樹木や玉石垣、風格のある建物や生垣等を残し、現在の場所に残せない場合は、開発区域内の別の場所への移設や、素材の再利用を行う。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	崖線に残る湧水や、自然環境の保全、育成のため浸透性舗装、浸透施設を積極的に使用する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	空地や駐車場などの周囲を緑化する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	借景等、地域の景観資源を生かした質の高い街並みづくりに努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	開発区域内または周辺の史跡や社寺、ほこら、蔵、名木等の歴史・文化的資源やまとまった緑地等の自然を保全する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	かつてあった歴史的・文化的資源がつくる街並み、失われるおそれのある地域の魅力的な街並みの保全、修景に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

（２）宅地（敷地）

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	ゆとりある規模の敷地を確保し、細分化されないよう景観協定等を活用する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	２ｍを越える擁壁は敷地境界から後退し、分節化や植樹、法面緑化等により修景する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	角地やアイストップとなる敷地は、シンボルツリーや憩いの空間等が配置できるようゆとりのある規模とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	土地の区画割りは路地状敷地等にならないような形状とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（３）道路

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	ゆとりある幅員を確保する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	開発区域外の道路と連結させ、行き止まり道路を避ける。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	幹線道路はシンボル空間として、生活道路はコミュニティや暮らしの場にもなるように、役割に応じたデザインをとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	単調な街並みにならないよう、地形の変化を道路線形に取り入れる等、自然を生かした道路景観となるよう努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	イメージハンプ等、車のスピードを抑える工夫をする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	フットパスの設置等、歩行者の安全性や快適性を高めるよう工夫する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（４）公園･広場･緑地

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	コミュニティの育成等に配慮した利用しやすい位置に公園やスポットパークを配置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	地域の個性を高めるシンボルツリーやモニュメント等を配置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	地域の植生に配慮し、道路や隣地の緑と調和させる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	既存樹木や用水路など地域の資源を生かす。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	緑道や遊歩道、街路樹のある道路を中心に、周辺も含めた公園・緑地や敷地内の緑等を繋ぐ緑のネットワークを形成する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（５）設備等

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	案内板、車止め等は自然素材の使用や、落ち着いた街並みに配慮したデザインとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	物置や室外機などは、公共空間から見えないように設置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	太陽電池モジュールやパワーコンディショナなどは、屋根から突出させず目立たない色彩及び材質のものを用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	ケーブルテレビや共同アンテナの設置に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	無電柱化に努め、やむを得ない場合は、電柱を敷地内に設置することとし、色彩等目立たないよう工夫する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

（６）配置

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	まとまりのある街並みとするため、壁面の位置を隣接する建物と調和させる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	地域の景観資源がつくる街並みの保全、形成に配慮した配置を行う。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（７）形態

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	壁面の色彩は、景観ガイドライン（色彩編）を踏まえ周辺となじむ落ち着いた色彩とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	周辺の街並みにも配慮しながら、建物の高さ、屋根の形態、素材や色調を調和させる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	角地やアイストップとなる敷地では、地域の個性を持たせた良好なデザインとなるよう努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	窓やベランダ、玄関等をきめ細かくデザインし、街並みに彩りを添える工夫をする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（８）外構（門・生垣・塀等）

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	道路に面した部分は、隣地や歩道、広場の緑と連続した効果的な植栽をする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	植物が良好に生育する環境に配慮し、地域の自然植生や環境に適した樹種を選定する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	単調な街並みとならないよう、アクセントや個性の演出に配慮したシンボルツリーや生垣を設置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

要素デザイン指針	アプローチや玄関前等に花や緑を飾る空間を設ける。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	生垣や高さを抑え植栽と組合せたフェンス、景観に配慮した塀等、快適な歩行空間と潤いのある街並みづくりを行う。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	沿道の街並み向上やごみ置きスペースとして効果のあるアルコーブを設置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	フェンスなどは、黒または茶系等とし、緑を引き立たせる色彩とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	景観協定などを用い、植栽の維持管理清掃などを積極的に行う。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	角地やアイストップとなる敷地では、目印となるシンボルツリーなどを植樹する。	□ はい □ いいえ	記載欄）

（９）照明・街灯

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	周辺に調和したデザインや色彩とし、光害を引き起こす過剰な明かりを避け、環境に十分配慮した明るさとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	地域の雰囲気に配慮した光色とし、原則として点滅する光源は使用しない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	昼間時における照明器具の見え方にも配慮したデザインとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	省エネルギーに配慮した光源、設備を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	開発区域内は街灯のほか、公園や歩行者用通路、玄関、外構に照明、庭園灯、フットライト、光源付きの車止め等を設置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	樹木のライトアップや窓辺の灯りの見せ方等を工夫し、夜間景観の演出に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

（１０）駐車場・駐輪場

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
要素デザイン指針	隣地の駐車場と並べて配置し、ボリュームのあるオープンスペースを確保する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	前面道路が化粧舗装の場合は道路と一体となったデザインとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	自動車や自転車が道路から見えないよう、配置や修景に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	地面の緑化、透水性舗装、段差の解消等に努める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

2-1. 地域別色彩ガイドライン

（景観ガイドライン色彩編:p.14参照）

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
色彩ガイドライン	外壁基本色は一般地域(商業系)の推奨色とする。 （景観ガイドライン色彩編:p.15参照）	□ はい □ いいえ	(記載欄)
	外壁基本色は緑の存在や周辺の街並みとの調和に配慮しにぎわいと活力が感じられる色彩(色相2.5YR～2.5Y、明度6.0～8.0、彩度2.0～4.0：推奨色範囲)とする。	□ はい □ いいえ	(記載欄)
	アクセント色は建物の中～低層部で用いる。	□ はい □ いいえ	(記載欄)

2-2. 大規模開発事業色彩ガイドライン

（大規模開発事業の場合のみ記入･景観ガイドライン色彩編:p.18参照）

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
色彩ガイドライン	外壁基本色は大規模開発事業の推奨色とする。 （景観ガイドライン色彩編:p.19参照）	□ はい □ いいえ	(記載欄)
	自然を基調とした色彩に良く馴染む暖色系の色相(5YR～5Y：推奨色範囲)とする。	□ はい □ いいえ	(記載欄)
	明度は7.0(推奨色の明度下限値)以上とする。	□ はい □ いいえ	(記載欄)
	彩度は2.0(推奨色の彩度上限値)以下とする。	□ はい □ いいえ	(記載欄)
	アクセント色は建物の中～低層部で使用する。	□ はい □ いいえ	(記載欄)

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

3-1. 屋外広告物の表示に関する共通事項

（景観ガイドライン屋外広告物編p.7参照）

基本的配慮事項	配慮事項に関する措置状況の説明
（１）規模、位置、色彩等のデザインが地域特性を踏まえた良好な景観の形成に寄与するような表示・掲出をする。 ・景観ガイドライン屋外広告物編p.4～6参照 ・地域の良好な景観形成に貢献するデザインとする	（記載欄）
（２）緑や地形など地域の景観をつくる背景、建築物や並木など景観を構成する要素との調和に十分配慮し、屋外広告物を表示・掲出する。 ・緑や自然、周辺との調和に配慮した色彩とする ・見通しを妨げない規模とする	（記載欄）
（３）歴史的な景観資源の周辺では、歴史的・文化的な面影や雰囲気を残す街並みなどに配慮して、屋外広告物を表示・掲出する。 ・歴史的な街並みに配慮した色彩、デザインとする	（記載欄）
（４）大規模な建築物や中高層の建築物に掲出出来る屋外広告物は、景観に対する影響が広範囲に及ぶ場合があることなどから、表示の位置や規模等について十分配慮する。 ・建物の壁面や屋上から突出させずに設置する ・複数の広告物は集約化する	（記載欄）
（５）主要な幹線道路においては、風格のある沿道の景観形成を進める。 ・地域ルール（景観計画p.93参照）を定める ・沿道の屋根や軒の連続した街並みを妨げないよう規模や設置位置を工夫する ・街並みの連続性に配慮した色彩、デザインとする	（記載欄）
（６）豊かな自然が多い地域では、街道沿いやレクリエーションエリア周辺に、景観を阻害する屋外広告物が点在する事のないよう、案内広告の集約化を図るとともに、色彩等のデザインを自然環境と調和させる。	（記載欄）

3-2. 屋外広告物の設置に関する共通事項

（景観ガイドライン屋外広告物編p.9参照）

基本的配慮事項	配慮事項に関する措置状況の説明
（１）地震・災害に強い広告物とする。 ・ 広告物は、屋上や壁面から突き出したものを控え、地震や強風時の被害を軽減するよう建物と一体化し、また、火災時に被害を軽減するよう小規模で燃えにくいものとする	（記載欄）
（２）交通安全に配慮し設置する。 ・ 道路沿いの広告物は、歩行者や自転車の通行の妨げにならないよう、設置位置に注意する ・ 屋外広告物により、自動車運転者の視界を妨げたり、信号標識等の視認性を妨げないようにする	（記載欄）
（３）こまめに維持管理を行う。 ・広告物は、日頃の適正な維持管理を心掛ける ・不必要になった広告物は速やかに撤去する	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

3-3. まちの特性から見た配慮事項

（景観計画:p.72、景観ガイドライン屋外広告物編:p.25参照）

	基 準	措置状況の説明
景観形成基準	広告物は集約化し効果的なものとする。また、落ち着いた色調とし、周辺との調和を図る。	（記載欄）
	建築物に付帯する構造物や設備等は、建築物本体と調和を図る。	（記載欄）
	夜間の景観を落ち着きあるものとし、過度な照明を使用しない。	（記載欄）
	圧迫感を感じさせないよう、長大な壁面の工作物は避ける。	（記載欄）
	色彩は、府中市景観計画別表１（p.91）の色彩基準に適合するとともに、周辺景観と調和を図る。	
	沿道から見たときに、周辺と調和する落ち着いた形態・意匠とする。	（記載欄）

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
地域デザイン指針	建物と一体化し、数・大きさを最小限にとどめる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	建物の低層部又は頂部にまとめ、窓面に広告を表示しない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	複数となる場合は、できる限り集約化する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	色彩は、街路樹等の緑と調和するよう、彩度を抑えるとともに、建物のベースカラーと調和したものとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	広告旗の設置を控える。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

3-4. 種類別指針

以下の屋外広告物について、設置するものにマークし、チェックシートを作成してください。

- □（１）屋上広告物
- □（２）壁面広告物（窓面の外側を利用した広告物を含む）
- □（３）地上設置広告物
- □（４）突出広告物
- □（５）広告旗
- □（６）広告幕
- □（７）バナー広告
- □（８）はり紙・はり札
- □（９）自動販売機
- □（１０）車体利用広告物
- □（１１）大型ビジョン（映像等表示装置）
- □（１２）その他（窓面の内側を利用した広告物等）

3-4. 種類別指針

（１）屋上広告物

（景観ガイドライン屋外広告物編p.11参照）

種別		指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
種類別指針	大きさ	連続するスカイラインを崩さないよう、隣接する建物との調和に配慮し、最小限の大きさ・高さとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	数量	原則として、建物１棟につき１個とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	設置位置	原則として、歴史的施設、旧街道、住宅地に向けて設置しない。やむを得ず設置する場合は、景観への影響を考慮し、控えめとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		中高層建物には設置しない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	形態	建物と一体的にデザインする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		原則として横長とし、安定感のある形態とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		圧迫感を与えない形態とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示内容	内容は、自家用とし、屋号のみとするなど、最小限の表示内容とする。 （自家用広告物とは、自己の事業又は営業を表示し、自己の事業所、営業所等に掲出されるものです。）	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	色彩	視覚的に建物と一体化するよう地色を壁面と同色系とする。または、地色と表示色を反転させる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		使用色は３色以内にとどめ、表示面積が大きいものは原色を使用しない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		自然や街並みと調和する色彩とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

種類別指針	素材	良質で、周辺や建築物の外壁と調和する素材を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		時間の経過により劣化しにくい素材又は時間とともに成熟する素材を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	照明等	夜間景観に配慮した落ち着きのあるものとし、ネオン管など光源が露出したものや、光源が点滅するものは使用しない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		住宅地の近くでは、広告物への照明は避ける。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

3-4. 種類別指針

（２）壁面広告物

（窓面の外側を利用した広告物を含む、景観ガイドライン屋外広告物編p.12参照）

種別		指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
種類別指針	大きさ	建物や周辺とのバランスに配慮し、最小限かつ街並みに適した大きさとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		複数設置する場合は、大きさを揃え統一感をもたせる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	数量	原則として、１壁面につき１個とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	設置位置	建物の表情を見せるように、２階以上の壁面には出来る限り設置を控え、頂部や１階部分などに揃える。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		原則として、歴史的施設、旧街道、住宅地に向けて設置しない。やむを得ず設置する場合は、景観への影響を考慮し、控えめとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		窓面をふさがないようにする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	形態	原則として、複数の内容を表示する場合は集約化する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		立体的な箱文字や切り文字を使用し、建物と一体的にデザインする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示内容	内容は、屋号のみとするなど、最小限の表示内容とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示方法	表示に関する共通事項によるものとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

種類別指針	色彩	視覚的に建物と一体化するよう地色を壁面と同色系とする。または、地色と表示色を反転させる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		使用色は３色以内にとどめ、表示面積が大きいものは原色を使用しない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		自然や街並みと調和する色彩とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	素材	良質で、周辺や建築物の外壁と調和する素材を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		時間の経過により劣化しにくい素材又は時間とともに成熟する素材を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	照明等	夜間景観に配慮した落ち着きのあるものとし、ネオン管など光源が露出したものや、光源が点滅するものは使用しない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		住宅地の近くでは、広告物への照明は避ける。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

3-4. 種類別指針

（３）地上設置広告物

（景観ガイドライン屋外広告物編p.13参照）

種別		指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
種類別指針	大きさ	歩行者や自転車の通行や見通しを妨げない大きさ、高さとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		建物や周辺とのバランスに配慮し、最小限かつ街並みに適した大きさとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	数量	原則として、１敷地につき１個とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	設置位置	壁面の後退部分に設置する場合は、歩行空間を充分に確保できる位置に配置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	形態	原則として、複数の内容を表示する場合は集約化する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		建物や街並みに合わせたデザインとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		安定感のある形態とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示内容	内容は、屋号のみとするなど、最小限の表示内容とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示方法	表示に関する共通事項によるものとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	色彩	支柱や地色は、彩度を抑え、建物や周辺と調和する色彩とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

種類別指針	素材	良質で、周辺や建築物の外壁と調和する素材を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		時間の経過により劣化しにくい素材又は時間とともに成熟する素材を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	照明等	夜間景観に配慮した落ち着きのあるものとし、ネオン管など光源が露出したものや、光源が点滅するものは使用しない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		住宅地の近くでは、広告物への照明は避ける。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

3-4. 種類別指針

（４）突出広告物

（景観ガイドライン屋外広告物編p.14参照）

種別		指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
種類別指針	大きさ	建物や周辺とのバランスに配慮し、最小限かつ街並みに適した大きさとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	数量	原則として、建物１棟につき１個とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	設置位置	近隣の建物の突出広告物と調和を図り、設置位置や突出幅を揃える。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		見通しや交通標識、信号を遮らない設置位置とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	形態	原則として、複数の内容を表示する場合は集約化する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		建物と一体的にデザインする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		支柱も含め造形や素材を工夫し、周辺の街並みを演出するよう配慮する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示内容	内容は、屋号のみとするなど、最小限の表示内容とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示方法	表示に関する共通事項によるものとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	色彩	支柱や地色は、彩度を抑え、建物や周辺と調和する色彩とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

種類別指針	素材	良質で、周辺や建築物の外壁と調和する素材を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		時間の経過により劣化しにくい素材又は時間とともに成熟する素材を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	照明等	夜間景観に配慮した落ち着きのあるものとし、ネオン管など光源が露出したものや、光源が点滅するものは使用しない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		住宅地の近くでは、広告物への照明は避ける。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

3-4. 種類別指針

（５）広告旗

（景観ガイドライン屋外広告物編p.15参照）

種別		指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
種類別指針	大きさ	歩行者や自転車の通行や見通しを妨げない大きさ、高さとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		建物や周辺とのバランスに配慮し、最小限かつ街並みに適した大きさとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	数量	必要最小限の数とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	設置位置	歩行者や自転車の通行や見通しを妨げないよう、敷地内に設置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		壁面の後退部分に設置する場合は、歩行空間を充分に確保できる位置に配置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	形態	支柱も含めて造形や素材を工夫し、周辺の街並みを演出するよう配慮する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示内容	内容は、屋号のみとするなど、最小限の表示内容とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示方	表示に関する共通事項によるものとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	色彩	支柱や地色は、彩度を抑え、建物や周辺と調和する色彩とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	素材	良質で、周辺や建築物の外壁と調和する素材を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		短期間で劣化しにくい素材を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

3-4. 種類別指針

（６）広告幕

（景観ガイドライン屋外広告物編p.16参照）

種別		指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
種類別指針	大きさ	建物や周辺とのバランスに配慮し、最小限かつ街並みに適した大きさとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	数量	必要最小限の数とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	設置位置	原則として、歴史的施設、旧街道、住宅地にむけて設置しない。やむを得ず設置する場合は、景観への影響を考慮し、控えめとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		建物の表情を見せるよう、窓面をふさがないようにする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	形態	周辺の良好な街並みを演出するよう配慮する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示内容	刺激的な表示内容を避け、最小限の表示内容とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示方法	表示に関する共通事項によるものとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	色彩	視覚的に建物と一体化するよう地色を壁面と同色系とする。または、地色と表示色を反転させる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		使用色は３色以内にとどめ、表示面積が大きいものは原色を使用しない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		自然や街並みと調和する色彩とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

種類別指針	素材	良質で、周辺や建築物の外壁と調和する素材を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		短期間で劣化しにくい素材を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	照明等	夜間景観に配慮した落ち着きのあるものとし、住宅地の近くでは広告物への照明は避ける。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

3-4. 種類別指針

（7）バナー広告

（景観ガイドライン屋外広告物編p.17参照）

種別		指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
種類別指針	大きさ	建物や周辺とのバランスに配慮し、最小限かつ街並みに適した大きさとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	数量	必要最小限の数とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	設置位置	見通しや交通標識、信号を遮らない設置位置とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	形態	支柱も含めて造形や素材を工夫し、周辺の街並みを演出するよう配慮する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		建物や街並みに合わせたデザインとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示内容	刺激的な表示内容を避け、最小限の表示内容とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示方法	表示に関する共通事項によるものとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	色彩	支柱や地色は、彩度を抑え、建物や周辺と調和する色彩とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	素材	良質で、周辺や建築物の外壁と調和する素材を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		短期間で劣化しにくい素材を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	照明等	夜間景観に配慮した落ち着きのあるものとし、住宅地の近くでは広告物への照明は避ける。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

3-4. 種類別指針

（８）はり紙･はり札

（景観ガイドライン屋外広告物編p. 18参照）

種別		指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
種類別指針	大きさ	建物や周辺とのバランスに配慮し、最小限かつ街並みに適した大きさとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	数量	必要最小限の数とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		同一のものを２枚以上続けて張り付け又はつり下げて設置しない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	設置位置	フレーム(額)や掲示板等に集約して設置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示内容	刺激的な表示内容を避け、最小限の表示内容とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示方法	表示に関する共通事項によるものとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	色彩	地色は、無彩色又は彩度を抑えたものとし、建物や周辺と調和する色彩とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

3-4. 種類別指針

（９）自動販売機

（景観ガイドライン屋外広告物編p.19参照）

種別		指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
種類別指針	設置位置	原則として、歴史的施設、旧街道、住宅地に向けて設置しない。やむを得ず設置する場合は、景観への影響を考慮し、控えめとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		建物等と一体的となる設置位置とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	形態	歴史的施設周辺、旧街道、住宅地等では木製の囲いを使用する等、建物や街並みに合わせたデザインとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		安定感のある形態とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示内容	ブランドや商品名など、最小限の表示内容とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	表示方法	表示に関する共通事項によるものとする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	色彩	外装色は建物や周辺と調和する色彩とし、歴史的施設周辺、旧街道、住宅地では原色を使用しない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	照明等	夜間景観に配慮した落ち着きのあるものとし、光源が点滅するものは使用しない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

3-4. 種類別指針
（１０）車体利用広告物

（景観ガイドライン屋外広告物編p.20参照）

種別	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
種類別指針	走る場所の特性を全線にわたって把握し、デザインを検討する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	媒体が動くので、小さい絵柄や詳しい表示等を避ける。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	基調色は彩度を抑え、街並みと調和する色彩とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

3-4. 種類別指針
（１１）大型ビジョン（映像等表示装置）

（景観ガイドライン屋外広告物編p.20参照）

種別	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
種類別指針	極度に強い光を放つもの、激しい点滅を伴うものとしない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	歴史的施設、旧街道、住宅地に向けて設置しない。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	自動車や自転車の運転者の注意を必要以上に引くような広告は控える。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

3-4. 種類別指針

（１２）その他（窓面の内側を利用した広告物）

（景観ガイドライン屋外広告物編p.20参照）

種別	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
種類別指針	原則として、窓面での広告表示はせず、壁面広告や掲示板を利用する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	やむを得ず表示する場合は、壁面広告物の指針を踏まえる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

4-1. 緑化の基本的な考え方

（景観ガイドライン緑化編p.6参照）

基本的配慮事項	配慮事項に関する措置状況の説明
（１）緑の効果や機能を高める ・道路や周囲から見える部分を積極的に緑化する ・建物や構造物との関係に配慮し設置する	（記載欄）
（２）緑の連続性に配慮する ・周辺にある緑の配置や特性を確認し、連続させる ・生物の生息空間となる緑のネットワークを広げる	（記載欄）
（３）地域の自然に配慮する ・府中の気候風土を考慮する ・地域の自然と調和した樹種を選定する	（記載欄）
（４）コミュニティを育成する ・緑を広げる市民参加や普及活動を行う ・緑を維持管理する市民参加や普及活動を行う ・緑地協定、景観協定等を締結する	（記載欄）

4-2. 地域分類別の緑化指針

（景観計画:p.75、景観ガイドライン緑化編:p.20参照）

	基 準	措置状況の説明
景観形成基準	敷地内はできる限り緑化を図り、周辺と連続させる。また、屋上や壁面の緑化を積極的に検討する。	（記載欄）
	緑化に当たっては、周辺の景観と調和を図るとともに、植物の良好な生育が可能となるよう、植栽方法を工夫する。	（記載欄）
	道路側に植樹して街路樹と一体となった緑化とする。	（記載欄）

	指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
地域分類別指針	街路樹により街並みの統一感を高め、奥行きのある連続した景観を形成するため、大径木を用いる。敷地内の道路に面した部分は、街路樹と調和した緑化とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	敷地内の緑は、道路空間等の公共空間からの見え方に配慮し、周辺と調和させる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	沿道に既存の樹林地がある場合は、積極的に道路景観と一体化する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	屋外駐車場は、公共空間から見えないよう植え込み等の緑により遮蔽する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	壁面の後退部分には花壇やフラワーポットを配置し、まちの魅力を高め、賑わいを創出する。さらに、容器のデザインや素材、色彩をまちの景観と調和させる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	交差点の角地等では、まとまった緑を配置し、緑陰を創出する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

4-3. 対象空間別指針

（景観ガイドライン緑化編 p.7参照）

以下の緑化の対象空間について、該当するものをチェックし、チェックシートを作成してください。

□（１）道路空間

□（２）接道空間（道路に面した空間）

□（３）大規模空間（公園、社寺、霊園、1,000㎡以上の敷地）

□（４）建築物に付帯する空間（ビル、マンション、戸建て住宅等）

4-3. 対象空間別指針

（１）道路空間

（景観ガイドライン緑化編 p.8参照）

		指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
対象空間別指針		馬場大門のけやき並木や多摩川、府中崖線、国分寺崖線、浅間山をはじめとする緑のネットワークを強化し、緑の相乗効果を高める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		歩行者や自動車等の利用主体による見え方の違いに配慮する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		歩車道の分離や、道路の方向を案内する等、道路空間の安全性を高める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		花や実、紅葉など季節の変化を感じさせる樹種を取り入れる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		良好な樹形を維持するため、病虫害や排気ガス等の生育阻害要因に対して適応性の高い樹種を選定する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	街路樹	樹木ごとの自然樹形を生かすとともに、通行の妨げとなりにくい形態の樹種を選定する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	道路植栽	環境施設帯や、バス停等の周辺では、快適性の高い緑化空間を形成する。また、市民の憩いの場となる緑化空間を創出する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		法面は原則として緑化し、緑の連続性を高める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

4-3. 対象空間別指針

（２）接道空間

（景観ガイドライン緑化編 p.10参照）

		指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
対象空間別指針		既存の緑を生かした緑化を行う。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		既存の塀やフェンスは、原則として後退させ、道路側に緑を配置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		塀やフェンス、建築物や構造物がある場合は、ツル植物やプランターを配置する等、緑の連続性に配慮する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		緑化空間の規模に応じた多様な樹種を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		接道部が駐車場等となる場合、植栽帯の設置や地盤面を地被植物で覆う等、緑の連続性を維持する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		病虫害や排気ガス等、生育阻害要因に対して適応性の高い樹種を選定する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		沿道のセットバックにより緑化空間を確保し、緑豊かな空間を形成する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	生け垣	萌芽力が強く、刈り込みに耐える樹種を選定する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		日照、風通し、土壌水分等、植栽場所の環境条件に適応可能な樹種を選定する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	境栽	道路に面した建物の設備等は、緑により修景する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		敷地内の緑が外側から見えるよう、高さを抑え開放的なデザインとし、内側の植栽を見せる工夫をする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	法面緑化	法面は原則として緑化し、緑の連続性を高める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

4-3. 対象空間別指針

（３）大規模空間

（景観ガイドライン緑化編 p.12参照）

		指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
対象空間別指針		緑の核を形成する貴重な空間であることを踏まえ、大径木などの樹木を配置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		地域に適した緑を中心に構成し、緑の核として良好な景観形成を先導する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		既存の大径木や良好な樹木は可能な限り保全または移植を行い、やむを得ない場合は、それにかわる大経木や樹木による緑化を行う。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		敷地の利用内容や利用動線に合わせ、機能を明確にしながら、緑を効果的に配置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		防風、大気浄化、ヒートアイランド現象の緩和等、都市気候の安定に効果のある緑化を行う。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		災害時などにも活用できる周囲の緑と連続したオープンスペースを確保する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		生き物の生息空間に配慮し、周辺の緑地等と連携したビオトープネットワークを形成するための拠点とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	生物多様性緑化	立ち入りを制限する区域を設けるなど、自然的な空間を確保する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		生き物が採餌やすみかとして利用できる樹種を植栽し、多様な生物が生息できる空間を創出する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	修景緑化	季節の移り変わりを楽しめるよう草花や多様な樹種を取り入れる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		シンボルツリー、府中の名木百選、保存樹木等を生かし、地域の個性を高める。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

4-3. 対象空間別指針

（４）建築物に付帯する空間

（景観ガイドライン緑化編 p.14参照）

		指 針	チェック欄	「はい」の場合はその内容を記入 「いいえ」の場合はその理由を記入
対象空間別指針		消火活動や避難時に支障が生じないよう緑を配置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		周辺の緑との連続性や調和に配慮し、周辺も含めた景観や環境を向上させる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		地上部における緑化を基本とし、より緑の量を増やすために屋根や壁面、ベランダを活用する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		地上だけでなく、様々な位置から見られることを踏まえ、屋上や壁面においても景観に配慮する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		通路や駐車場等の地盤面は透水性とし、地被類と組み合わせる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		花木や実木、草花等、街並みに彩りを与える緑を用いる。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	外構植栽	樹種や樹形・配植密度に配慮して計画する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		できるだけ地域の植生から選択する。さらに、高木、中木、低木を組み合わせた多層構造にも配慮し、多様な生き物が生息可能な空間とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	庭園	環境条件を十分考慮し、緑の特性や将来の樹形に配慮した計画を行う。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		まち全体の緑の個性と豊かさを育てる共有の財産として、敷地外からの見え方にも配慮する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）

景観配慮事項チェックシート（一般地域・幹線道路沿道）

対象空間別指針	壁面緑化	建物の直線的な景観を和らげ、意匠性を向上させる工夫を施す。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		登はん型や下垂型等、建物の形態に十分配慮した手法を選択する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		長期的に維持・保全できるよう、樹種の選定に配慮し、植栽土量を確保する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	屋上緑化	道路などの公共空間から見ることのできる場所に緑を配置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		植物の成長により、荷重の増加や根の侵入、土壌水分の停滞による建物への影響が起きる場合があることを考慮する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
		高木、中木、低木を組み合わせた多層構造に配慮し、多様な生き物が生息可能な空間とする。	□ はい □ いいえ	（記載欄）
	ベランダ緑化	季節感を高めるとともに、街並みに彩りや変化を与える緑を配置する。	□ はい □ いいえ	（記載欄）